

●今月の法語カレンダー●
愛されていない命は一つもない
尊ばれない命は一つもない
西脇顕真

先日「外観」を気にする余り、自分の顔を醜いを思い込み、家に引きこもったり生きる気力をなくしたりする「醜形恐怖症」の若者が増えていて、という新聞記事を読みました。私たちは顔も声も能力もそれぞれ違い、それが原因で悩み苦しむこともあります。しかし、その違いを超えた「命」を平等に慈しんで下さるのが仏さまのまなざしです。私たち一人一人が愛され尊ばれる大切な命だよと教えて下さるのです。そこに見た目ではない、生きることの本当の意味が見えてきます。

四月の行事

●朝の日曜礼拝
毎週日曜朝七時
一緒にお参り致しましょう♪

●仏教講座会
二十日(木)午後一時半

講師 渡邊恒行師

(本願寺派布教使)

お参り・法話・茶話会

●婦人の集い

八日(土)午後十二時

総会&「花まつり」

●お経練習会
二十二日(土)午後三時

●ヨーガ教室
十二日・二十六日(水)

各午後十二時半

五月の行事

○門信徒会総会
永代経法要

二十一日(日)

○婦人の集い

十日(水)



天真寺婦人会

「れんげ会」の集い



四月八日は、お釈迦さまのお誕生日です。

お釈迦さまは約二千五百年前のインドに小さな国の王子としてお生まれになりました。

生まれてすぐ七歩あゆまれ、「私は、この世で、もつとも尊い教えを説きひろめます」と宣言されたと伝わります。

いつの時代にもどこの国でも、変わることはないお釈迦さまの真実の教えに

0・触れる大切なご縁です。

婦人会では総会とあわせて、「花まつり」を致します。ぜひ

一緒にお祝い致しますよう♪

【日時】

四月八日(土)午後十二時

お弁当と甘茶が出ます。

活動報告

★今年の春分の日は、桜の開花宣言が待たれるおだやかであたたかな日となりました。

ちょうどワールド・ベースボール・クラシックの決勝の日!皆さんお参りに来て下さるかしたら、と心配しましたが、本堂ご満堂のご門徒さんとともに無事「春季彼岸会」を勤めさせていただきました。

お参り下さった方々、お手伝い下さった役員の方々、ありがとうございました。



昨年京都への「念仏奉仕団」に初めて参加された、吉田づ子さん（小金原）が感想をお寄せ下さいました。

「西本願寺念仏奉仕団

に参加して」

平成十七年十月四、五、六日
京都 高山 旅行日記より

今年十月にはいつて雨の日が続きました。今回の旅行も京都を出て高山にむかう頃やっとお天気が回復しました。しかし私にとっては良い雨だったかも知れません。

念仏奉仕の人は私達千葉組の約百名のほかにも和歌山や鳥取など総勢四百人が参加しました。総御堂でお経をあげたり、御法話をいただいたり、清掃をするのですが生憎の雨でしたので、清掃は御堂の畳を拭くことでした。何しろ四百人の人が畳を拭くので広い御堂も一畳に三人くらい、同じところを入れ替わり立ち替わりで清掃しました。

夜は天真寺住職様のお計らいで、大和大路四条の「花吉兆」で京懐石を頂きました。素晴らしい思い出が出来ました。素晴らしい思い出が出来ました。高台寺のライトアップを見ることが出来るかもしれないと近くまで行きましたが、雨上がりでひとけもなく、やっていませんでした。

二日目も雨で、朝五時半の開門に遅れないように駆けつけ、住職様が親鸞聖人様の御影像正面の、良い場所を確保してくださいましたので、そこで朝事にお参りさせていただきました。朝のお勤めは、御門主様がお佛飯をお供えされお席につかされると、お内陣の主な僧侶、外陣の結界の内側に着座していた二十人位の若い修行僧がお経をあげられ、読経の声の荘厳さ、ハーモニの良さ、無我の境地にいるようで感動しました。

そのあと御門主様のお言葉をいただき、御門主様と記念写真をとり、宿舎の東急ホテルにかえりました。お朝事は毎日行われています由、さすが御本山だとおもいました。

朝食のあとはまた御奉仕です。雨でお庭の清掃ができませんので、国宝白書院の畳拭きでした。見学の時は廊下から拝観しましたが、割り当てられた何何の間の畳拭きで、国宝の障壁画を近くで拝見できて、雨もラッキーということ

です。障壁画は狩野派の作で、こんなに身近で拝見出来たのも、門信徒であればこそと思えました。

白書院でお抹茶



のお接待があり、あとは念仏奉仕を十回以上続けられた方の表彰がありました。三十五回という方もおられ、驚いたことです。

また白書院の北側には、国宝の北能舞台があり、書院の廊下から拝見出来ました。

その他の希望者には、国宝で一般には非公開の飛雲閣を見せて頂きました。飛雲閣は秀吉が建てた聚楽第から移し

た三層の楼閣で別荘建築です。

一、二、三層とそれぞれ屋根の形が違っており第二層目の周りの扉はレプリカながら、三十六歌仙の絵が描かれており、美しいものでした。前面の池に船を浮かべ第一層の入り口は船で出入りしたとのこと、桃山時代の貴族の優雅なお遊びが思い描かれました。御住職様には、初体験の私の為にいろいろお世話下さいましたことを、お礼申し上げます。



午後から高山に移動しあとお楽しみ旅でした。永い間一度は参加したいという気持ちを果たすことが出来ました御縁を、感謝します。

合掌

今年十月に「天真寺大谷本願永代合葬墓」の完成を記念した京都への参拝旅行があります。参加者募集中です！

（申し込み・詳細はお寺へお尋ね下さい）